

生活福祉科

民間講師招へい事業「思春期の健康管理」

7月16日（火）3・4校時、生活福祉科1年に民間講師招へい事業として、マタニティ病院の助産師である西村マユミ先生より「思春期の健康管理」について講話をしていただきました。

胎児の人形を抱いてみると、その大きさ・重さに成長の過程や生命の重さを感じることができました。



西村先生の話に、「人生で一番苦しいことは、産道を通る時、生まれてくる前の瞬間。一番苦しい時は乗り越えたので、これからの人生でどんなにつらいことがあっても乗り越えられるはず。」と教えていただきました。まずは自分の生命と身体を大切にしながら、一人一人がしっかり成長できるよう、頑張ってください。

このように
自分で動きながら
生まれてくるんだよ

